平成25年11月6日

各位

上場会社名　東亜バルブエンジニアリング株式会社
代表者名　代表取締役社長　唐澤　裕一
コード番号　6466
上場取引所　東証市場第2部
本社所在地　兵庫県尼崎市西立花町五丁目12番１号
問い合せ先　管理本部長　飯田　明彦
TEL 06(6416)1152

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成25年9月18日に公表した平成25年9月期の連結業績予想（平成24年10月1日から平成25年9月30日まで）を下記の通り修正致しましたのでお知らせいたします。

金額単位：百万円

平成25年9月期連結業績予想数値の修正（平成24年10月1日～平成25年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
					円　銭
前回発表予想　(A)	8,150	▲ 250	▲ 200	▲ 590	▲ 312.64
今回修正予想　(B)	8,330	83	137	▲ 262	▲ 112.43
増減額　(B－A)	180	333	337	328	－
増減率　(%)	2.2%	－	－	－	－
（ご参考）前期実績（平成24年9月期）	10,588	1,149	1,169	113	48.47

修正の理由

当連結会計年度の業績は、売上高83億30百万円、営業利益83百万円、経常利益１億37百万円、当期純利益２億62百万円の赤字、となる見込みです。

本年９月に、当初想定に無かった原発向けシビアアクシデント対策用バルブなどの受注・売上、固定費の圧縮を中心とした原価低減策などに加え、昨年春より実施しております収益改善プロジェクトの「七本の矢」作戦による収益拡大策が奏功したことなどを理由に、当初想定と比して大幅な業績改善となる旨の修正開示を行ないました。その段階では、期末近くが客先納期となっているいくつかの案件の売上可否、たな卸資産の減少による売上原価の増加、期末独特の会計処理による損益への影響、在外子会社の業績など、いくつかの事象について帰趨が明確でなかったことから、これらについて保守的な見積を行い業績開示を行ったところです。

しかし結果的には損益に大きく影響するような事象もなく、営業利益、経常利益についてはこれまでの想定から一転し、黒字となる見込みとなりました。当期純利益については、当期においては繰延税金資産の計上は行なわず、前期末の残高をすべて取り崩したため、その影響により赤字となる見込みです。

以　上